

ModisTool インストール手順

2011年1月
植山雅仁

1. はじめに

ModisTool は、NASA から提供される MODIS の SIN グリッドの HDF ファイルを処理するソフトである。ModisTool を利用すると、データの投影法変換、領域の抽出、バイナリ変換などを容易に実施することが出来る。ModisTool は Java で記述されているため、実行環境として Java がインストールされている必要がある。以下に、Windows 環境 (Windows XP) で ModisTool を導入する手順を紹介する。

2. Java のインストール

下記の ORACLE のサイトから、Java JDK をダウンロードする (図 1)。

ORACLE : <http://java.sun.com/javase/ja/6/download.html>

ダウンロードしたファイルを、手順に従って Windows にインストールする。普通にインストールすると、Java の実行ファイルは、「C:\Program Files\Java\jdk1.6.0_23\bin」にインストールされる。



図 1 ORACLE のサイト

3. ModisTool のインストール

ModisTool は、以下の USGS のサイトからダウンロードすることが出来る。ダウンロードに際しては、ユーザー登録が必要であるので、ユーザー登録を済ませておく。

USGS : https://lpdaac.usgs.gov/lpdaac/tools/modis_reprojection_tool

ダウンロードしたファイル (MRT_download_Win.zip) を展開すると、install.bat というファイルが生成されるので、それを実行してインストールをスタートさせる。コマンドプロンプト上で、指示が出てくるので、指示に従ってインストールを進める。Java のパスについては、Java の実行ファイルのアドレス (この場合は、「C:/Program Files\Java\jdk1.6.0_23/bin」) を指定する。フォルダの区切りが、\ではなく/ (スラッシュ) であることに注意すること。

4. 環境設定

コマンドプロンプトから ModisTool を起動させるために、以下の二つの設定作業を行なう。

4-1. ModisTool のバッチファイルの書き換え

ModisTool がインストールされたディレクトリ中の bin ディレクトリ下にある「ModisTool.bat」を右クリックして、編集を選択する。中に記載されている情報を全て削除して、以下のように書き換えて上書き保存する。

以下の例は、ModisTool が「c:\Modis」にインストールされている場合である。異なる場所にインストールした場合は、「c:\Modis」を適宜変える。

```
c:\Modis\bin\ModisTool.jar
```

4-2. パスを通す

パスの設定は、以下のサイトを参考に実施する。

<http://pocketstudio.jp/win/xp/path.html>

マイコンピュータのアイコンを右クリックすると、図2のようなシステムのプロパティが表示される。詳細設定タブから環境変数ボタンを押すと図3のような環境変数ダイアログが表示される。

下段の path を選択して、変数種の末尾に、

```
「; C:\Modis\bin」
```

を加える（上記の例は、ModisTool が「c:\Modis」にインストールされている場合）。その他の箇所については、変更を加えないように注意すること。

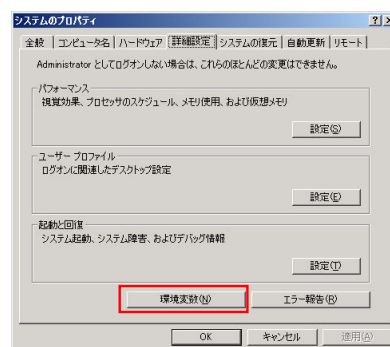


図2 システムのプロパティ

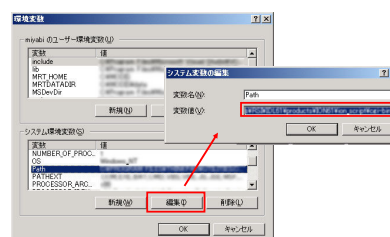


図3 環境変数ダイアログ

以上の設定を行なった後、新規でコマンドプロンプトを立ち上げ、「ModisTool」と入力すると ModisTool のダイアログが立ち上がるようになる。